



### 中川 哲 (Satoshi Nakagawa) 委員

社会構想大学院大学 コミュニケーションデザイン研究科 教授  
株式会社 EdLog (代表取締役社長)

関西大学大学院経済学研究科 修士課程を修了。修士 (経済学)。東北大学大学院 情報科学研究科 博士課程後期修了。博士 (情報科学)。日本のソフトウェア開発会社を経て、マイクロソフト株式会社に入社。退職後、文部科学省に入省。現在は、株式会社 EdLog を設立し、企業経営とともに文部科学省 初等中等教育局 視学委員として、GIGA スクール構想の立ち上げに関わる。また、愛知教育大学と立命館大学の客員教授。港区教育委員会教育情報参事官、教科書研究センター研究顧問 (特別研究員) を務める。

# 2040年代に向けた これからの教育について

## MINATO ビジョン・シンポジウム

社会構想大学院大学  
コミュニケーションデザイン研究科  
教授 中川 哲 博士(情報科学)

SATOSHI NAKAGAWA@



All Rights Reserved

1

## 自己紹介(活動と研究内容)

### 中川 哲【なかがわ さとし】博士(情報科学)

#### 活動

- 社会構想大学院大学  
コミュニケーションデザイン研究科 教授
- 愛知教育大学 客員教授
- 立命館大学 客員教授
- 教科書研究センター 研究顧問
- 文部科学省  
初等中等教育局 視学委員
- 港区教育委員会 教育情報参事官
- (株)EdLog 代表取締役社長

#### 研究

- 初等中等教育における
  - 生成AI教育利用
  - デジタル教科書
  - プログラミング教育
  - 遠隔教育
  - 教育支援システム開発
  - Computer Based Test
- 主な所属学会
  - 日本教育工学会, 日本教育メディア学会,  
情報処理学会, 教育システム情報学会

SATOSHI NAKAGAWA@

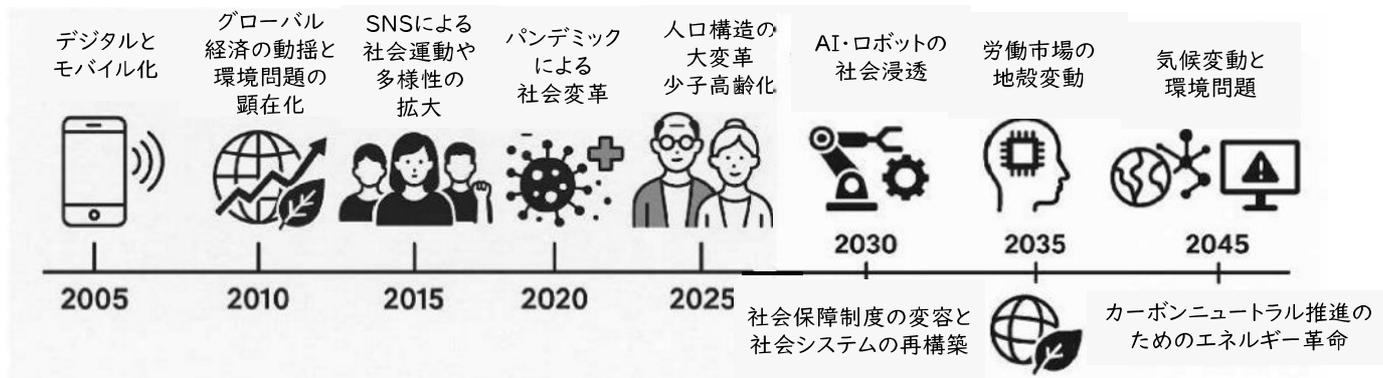


All Rights Reserved

2

# これまでの20年、これからの20年

参考資料[https://www.mext.go.jp/kids/find/kagaku/mext\\_0002\\_00001.html](https://www.mext.go.jp/kids/find/kagaku/mext_0002_00001.html)



## 新たな社会課題

- 情報過負荷環境のコミュニケーションスキル
- デジタルデバイドの深刻化とAI格差

## 未来社会 キーワード

- ロボット技術とAIの融合による人間機能拡張
- リアルとバーチャルの超分散ネットワーク

これからの20年で、教育には、AIによる個別最適学習が推進され、多くの学校でバーチャルキャンパスが採用される可能性が考えられる

SATOSHI NAKAGAWA@



All Rights Reserved

3

# 社会変化と今後の教育における課題

## 社会変化

- SNSや生成AIの普及による情報環境の変化
- 価値観の多様化と情報の信頼性の揺らぎ
- 労働観やスキルに対する社会の期待の変化

## 今後の課題

- 情報活用能力と生成AIを含めたICTリテラシー
- 個性を伸ばす個別最適な学び
- 教員のリスキング

SATOSHI NAKAGAWA@



All Rights Reserved

4

# 2040年代に向けて

- 保護者を交えた情報モラル, メディアリテラシー, 情報リテラシー, デジタル シティズンシップ教育の推進
- 人間中心アプローチを基盤とした生成AIの教育における活用ガイダンスの策定, 実証
- 教員研修のさらなる強化  
(授業力改善, 生成AI活用力育成)

